

岩部建設(武豊町西門)の社長、岩部雅人さん(59)は毎月、社員に配る給与明細に社長のメッセージを添える。内容は本業の建設業とはほぼ関係なく、歴史や文学、神社仏閣など多彩。「日常のヒント、新たな視点を知ってほしい」と願う。同社の創業100年を記念し、メッセージをまとめたエッセー集「散歩のついで」を出版した。(加藤隆士)

社長から社員へ 給与明細の金言

武豊・岩部建設 岩部さんが随筆集

エッセー集を出版した岩部建設の社長、岩部さん(武豊町で)



エッセー集は739頁。タイトルには「散歩のついでのように気楽に読んでほしい」との思いを込めた。

岩部さんが気に入っている項目の一つが、2021年7月の「なごこたりそね」。江戸時代の国学者、本居宣長が弟子に贈った言葉を紹介している。岩部さんによると、「学問をしても決して家業をおろそかにしないように」との教えという。「何が大切か、何が本業か。順番を押さえてほしい」と呼びかけている。

社員にメッセージを贈っていた前社長の父、一好さん(故人)を引き継ぎ、社長就任とともに16年7月から自身も贈るようになった。字数は400

「新たな視点みつけて」

字詰め原稿用紙で12枚分と短くはない。「会社の経営で頭が混乱しそうなところ、文章を書いていると心が整理されてバランスがとれる」と書くことの効果を強調する。

エッセー集には、今年3月分まで約10年分をまとめた。一好さんが書いた3冊目になるエッセー集「雄気完結編」も同時に出版。各1200部ずつ発刊し、取引先などに無料で配った。「散歩のついで」は若干の在庫があるという。

出版後も、岩部さんはメッセージを書き続けている。4月以降のメッセージは、同社のホームページで読むことができる。